



上田西部地域協議会だより

平成 28 年 3 月 31 日発行

発行：上田西部地域協議会

(事務局) 市民参加・協働推進課

電話 75-2230 (直通)

ごあいさつ

合併と同時に 9 地域に設置され、地域の個性や特性が生かされ地域力が発揮されるまちづくりに向けて活動が続けてまいりました地域協議会も、早いもので第 5 期目が任期満了となりました。

当上田西部地域協議会では、これまで 20 名の委員により、毎月 1 回開催する中、地域課題の解決に向けた調査研究や市からの諮問に対し答申を行ってまいりました。

今年度は、「西部公民館施設整備」について協議を行い、施設全体をバリアフリーとし、高齢者等に配慮した施設にすること等の内容で意見書を提出いたしました。

また、第二次上田市総合計画の「上田西部地域の特性と発展の方向性」についてや「新生上田市建設計画」の変更について、市からの諮問を受け、協議・検討を重ね答申を行ってきたところであります。

こうした取組も、西部地域の皆様方のお力添えにより進められたものと、深く感謝申し上げますとともに、第 5 期目での活動や、地域課題の解決に向けた取組を第 6 期目に繋げてまいりたいと考えております。引き続き住民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長 高橋 守



協議会の活動状況

上田西部地域協議会では、3 つの分科会を編成し、平成 26・27 年度の 2 カ年にわたって地域の課題解決や地域の活性化に向けた協議を進めてまいりました。

分科会では、市への意見書提出を行いませんでしたが、それぞれの分科会ごと視察や市担当課、関係者をお呼びし意見交換を行うなど、活発な分科会活動が展開されました。



▲自主防災アドバイザーの塚原富夫氏をお招きし、防災についてのご説明をいただきました。(第 1 分科会)

各分科会の活動テーマ

	テーマ
第 1 分科会	地域防災力を生かし、安全で快適なまちづくり
第 2 分科会	将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育てるまちづくり
第 3 分科会	地域が一体となり高齢者や障がい者を支え、だれもが安心して暮らせるまちづくり

わがまち魅力アップ応援事業の実施状況について

平成 20 年度からスタートしました「わがまち魅力アップ
応援事業」は、まちづくりの主役である市民の皆さん自らが、
創意工夫により地域の魅力を高め、市民の交流を促進する
自主的・主体的な取組について市が支援する事業です。
平成 27 年度は、上田西部地域管内で 5 件の応募があり、
4 件が採択となりました。

今年度実施された地域づくり活動をご紹介します。



▲下塩尻桜つつみホテル会活動の様子

平成 27 年度に西部地域で実施された「わがまち魅力アップ応援事業」の紹介

団体名	事業名	年目
西部ペタンク同好会	西部塩尻地区で、ペタンクを通して、 全ての地域住民の交流親睦を図ろう！	5
太郎山山系を楽しくつくる会	太郎山山系の山城を探訪し、併せて縦走路整備に より楽しく、里山のよさを知って貰う事業	5
西部地域軽トラ市推進委員会	西部地域軽トラ市等推進委員会	2
下塩尻桜つつみホテル会	健幸都市うえだの一翼を担う ウォーキングコースの整備	1

上田西部地域協議会委員名簿（任期：平成 28 年 3 月 31 日）

	氏 名	自治会名		氏 名	自治会名
1	渌 勉	生 塚	11	田 畑 冨 子	緑が丘西
2	石 塚 佳菜子	新 屋	12	田 畑 裕 康	緑が丘西
3	市 村 貴 晴	新 屋	13	馬 場 文 枝	上 塩 尻
4	小 市 武 志	新 屋	14	濱 村 美智子	諏 訪 部
5	小宮山 アサジ	城 北	15	堀 内 吉 孝	秋 和
6	渋谷 友 紀	緑が丘北	16	増 田 由喜子	城 北
7	清 水 博 夫	上 塩 尻	17	宮 下 和 夫	下 塩 尻
8	清 水 文 彦	下 塩 尻	18	母 袋 祐 子	下 塩 尻
9	関 口 幸 男	緑 が 丘	19	山 崎 順 子	上 塩 尻
10	高 橋 守	緑が丘西	20	湯 田 勝 己	秋 和

皆さんの意見を募集しています

◆ 地域の課題や上田西部地域協議会、今回発行した地域協議会だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。

いただきましたご意見は、上田西部地域協議会の中で、地域の声として協議・検討してまいります。

【問い合わせ先】西部公民館(電話 27-7544 F A X 27-7522)

市役所 市民参加・協働推進課(電話 75-2230 F A X 22-4130)